

苦工定ガイドブック



北海道苦小枝工業高等学校

苫小牧工業高校の概要

学校の概要

- 1 学校名
北海道苫小牧工業高等学校（定時制課程）
- 2 所在地
〒053-0035
苫小牧市字高丘6番地22
TEL：(0144) 36-3162（定時制直通）
FAX：(0144) 36-3166
- 3 ホームページ
<http://www.tomakou.hokkaido-c.ed.jp/teiji/>



- 4 学級数・生徒数（令和4年10月1日現在）

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	合 計
工業技術科	8	13			21
機械科			8	5	13
建築科			4	5	9
合 計	8	13	12	10	43

- 5 校訓

「質実剛健」

意味：中身が充実して飾り気がなく、心身ともに強くたくましいさま。

- 6 校章



学校のあゆみ

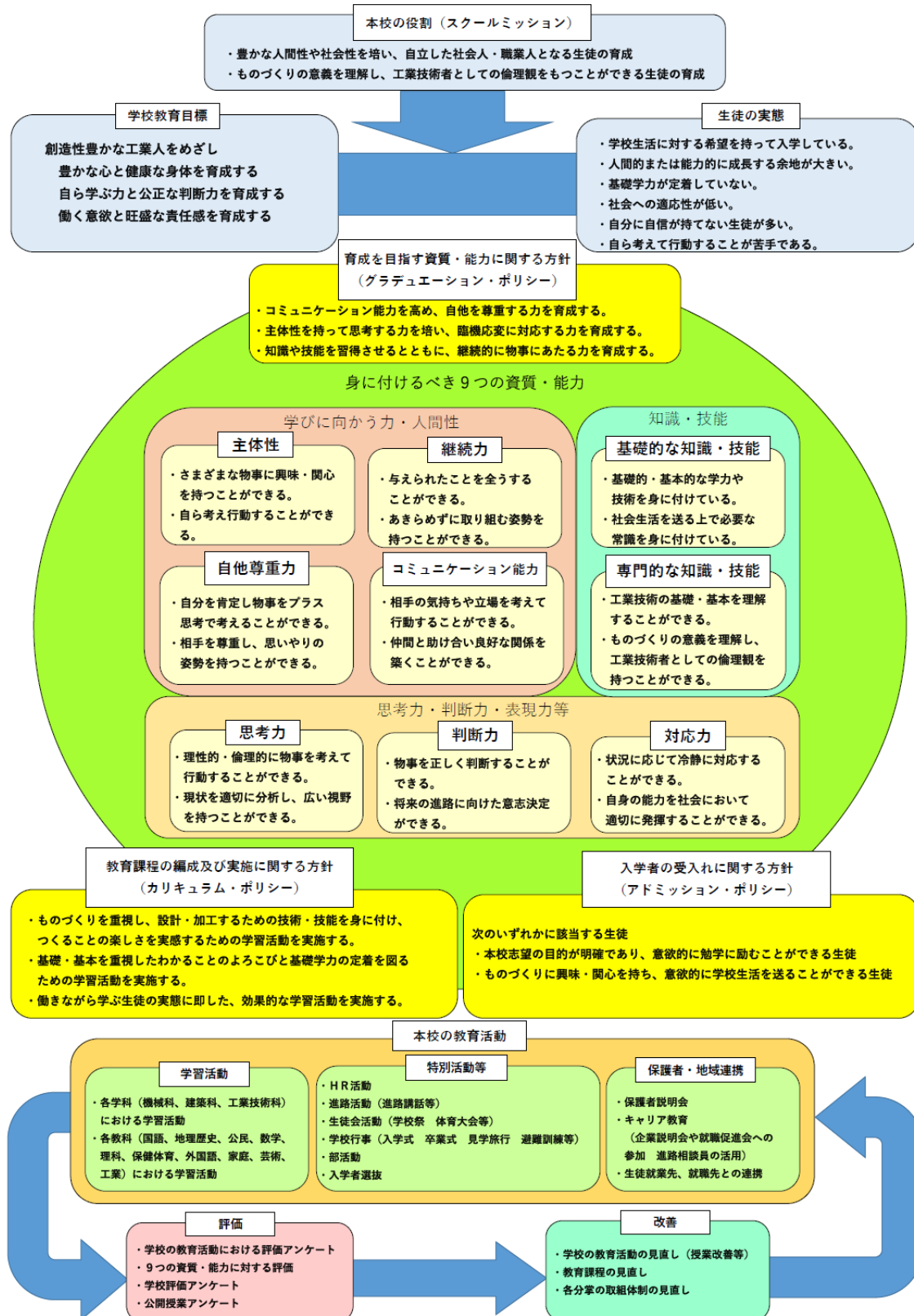
本校は、大正12年に当時の北海道の工業開発に応じる工業技術者を育成するため開校した伝統ある工業高校です。創立以来98年の間、工業都市・苫小牧の発展と共に、「質実剛健」の校訓に則り、工業技術者の育成に努め、約28,000名の卒業生は、北海道を始め全国各地で活躍しています。現在、全日制課程は6学科（土木、建築、電子機械、電気、環境化学、情報技術）設置しています。

定時制課程は機械と建築の2学科を再編し、令和3年度から道内初の学科である工業技術科を設置し、産業界の期待にこたえた職業教育を行っています。施設・設備は、昭和58年に現在地に移転し、小高い丘の広大な敷地に近代的な校舎が建っており、将来を担う技術者育成のため管理棟の教室、特別教室のほかに、実習棟には実験実習の設備やICT機器が整備されています。



北海道苫小牧工業高等学校 定時制課程

グランドデザイン



工業技術科の教育課程

本校は、令和3年度から機械科と建築科を再編し、工業技術科となりました。教育課程は以下のとおりです。

		工 業 技 術 科				
		1 年	2 年	3 年	4 年	計
国語	現代の国語		2			9
	言語文化	3				
	国語表現			2	2	
地歴	歴史総合			2		8
	地理総合		2			
公民	公共	2				
	政治・経済				2	
数学	数学Ⅰ	2	2			9
	数学Ⅱ			2	3	
理科	科学と人間生活	2				4
	物 理 基 礎			2		
保体	体 育	2	2	1	2	9
	保 健	1	1			
芸術	美 術 Ⅰ			2		2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	1			3
家庭	家 庭 基 礎		2			2
普通教科・科目合計		14	12	11	9	46
工業	工業技術基礎	3				3
	課 題 研 究				3	3
	実 習		3	3	4	10
	製 図		2	2	2	6
	工業情報数理	2	2			4
	工業材料技術			2		2
工業科目合計		5	7	7	9	28
教科・科目合計		19	19	18	18	74
特別活動	LHR	1	1	1	1	4
合 計		20	20	19	19	78



工業技術科について

学科の特徴

ものづくり経験を積むことを重視したカリキュラムの下、金属加工や木材加工等に関する基礎的な知識や技術を身につけることを目指した学科です。実習科目の指導に当たっては、技術を身につけることを目指すと同時に、安全面に関する指導も重視しています。これらの経験を生かし、地域の産業に貢献することのできる人材を育成することを目指しています。

学 習 内 容

工業に関する専門科目の80%以上が実習系科目です。実習系科目では3～5人の小グループに分かれ、各グループに複数の指導担当者を配置し指導に当たっています。作業内容を丁寧に教えるので、ものづくりの楽しさを感じることができると思います。

<専門科目>

専門科目の授業内容

- ・工業技術基礎（1年生）
- ・製図（2～4年生）
- ・実習（2～4年生）
- ・課題研究（4年生）

座学系

- ・工業情報数理（1・2年生）
- ・工業材料技術（3年生）

実習系



苫小牧工業高校の学校生活

特 徴

- 本校生徒は、昼間働き夜は学校で勉強する生活を送っています。働きながら学ぶ経験を通じて
- 適切な人間関係を構築していきます。(学校だけでなく、就労先でも人間関係を学んでいきます。)
 - 働くことの大切さを理解していきます。(実体験を積むことで理解が深まっていきます。)
 - 適切な行動がとれるようになっていきます。(学校と就労先の両方で経験を積むことで成長していきます。)
 - 充実感を得ながら毎日の生活をおくることができます。(学校でも就労先でも自分の居場所や役割があります。)
- 学校生活と就労経験の両方を通じて、生徒たちが大きく成長していくのが本校の特徴です。

基 本 時 鐘

給 食	16:45~17:30
SHR	17:35~
1	17:40~18:25
2	18:30~19:15
3	19:20~20:05
4	20:10~20:55
SHR	20:55~

◆ 夜に学ぶ工業高校です ◆

- 授業は**夕方17:35**から**夜20:55**まで
- **1日4時間(週20時間)**の授業
- **4年間で卒業**
- **幅広い年齢、多様な入学動機**の生徒



給 食

1食250円の個人負担になります。希望制で前月に料金を徴収します。

給食時間は16:45~17:30までで、授業のある日は毎日給食があります。生徒の皆さんからは、ボリュームがあってとてもおいしいと好評です。



通 学 方 法

学校までの通学方法は、徒歩・自転車・バスの他に、送迎(保護者・雇用主)・バイク(400cc以下)・自家用車による方法があります。

自転車通学については届出制ですが、**バイク**や**自家用車**による通学については許可制になっています。許可には任意保険への加入が必要です。

部活動・同好会

部活動・同好会には、卓球部、バドミントン部、新聞局、工業研究部、があります。

今年度は、**卓球部（女子個人）**と**バドミントン部（男子個人）**が**全道大会**に出場しました。また、**工業研究部**は、各種建築・設計コンテストに毎年応募し、**金賞や最優秀賞など多数受賞**しています。部活動に参加している生徒達は、放課後の限られた時間で一生懸命活動しています。



学校での一日

17:00 頃

登校

仕事が終わって夕方に登校



16:45～
17:30

給食

毎日美味しい給食



17:35～
17:40

SHR

出席を確認してスタート



19:20～
20:05

3校時 実習

工具を使って木材加工



18:30～
19:15

2校時 科学と人間生活
みんなで化学の実験



17:40～
18:25

1校時 英語コミュニケーションI
英語で楽しく伝え合い



20:10～
20:55

4校時 実習

工作機械で鉄材を切断



20:55～
21:00

SHR

教室をきれいに掃除



21:00～
22:00

放課後

部活動で汗を流します



学 校 行 事

本校では多くの学校行事や生徒会行事が行われています。主な行事は以下のとおりです。様々な行事での活動を通じて、充実した定時制高校生活を過ごすことができます。

【4月】1学期始業式、入学式、対面式・部紹介、定期健康診断



【5月】定通体連地区大会 【6月】定通体連全道大会



【7月】学校祭 【8月】定通体連全国大会、校内生活体験発表大会



【9月】胆振地区生活体験発表大会、1学期終業式 【10月】修学指導事業（宿泊研修）



【11月】見学旅行 【12月】体育大会



【2月】予餞会、賞状授与式 【3月】卒業証書授与式、2学期終業式



苫小牧工業高校の費用

入 学 費 用

本校の入学時に納めていただく諸納金の内訳です。（令和4年度入学生）

①入学時諸納入金		12,380円
内 訳	入学料	0円※
	給食費（4月分）	3,500円
	実習教材自己負担金	4,000円
	日本スポーツ振興センター掛金	880円
	生徒会入会金	1,000円
	定時制後援会入会金	2,000円
	苫小牧市高等学校定通教育振興会入会金	1,000円
②学級費（4年間分）		9,120円
合 計（①+②）		21,500円

※入学料は納付用紙に2,100円分の北海道収入証紙を貼り付けて納付いただくことになります。

物 品 購 入

本校は専門（工業）高校ですので、各科授業で使用する専門用具を入学前に購入していただきます。

※下表は令和4年度入学生の物品購入一覧表です。

品 名	金 額
上靴	4,000円
美術用教材	2,000円
家庭科実習費	3,000円
写真代	600円
体育用ジャージ	9,800円
関数計算機	2,500円
実習服	6,800円
合 計	28,700円



諸 納 金

1年生が1年間で支払う諸納金額（予定）の合計です。

授業料	¥32,400 ※1
給食費	¥50,000 ※2

旅行積立金	¥49,880
後援会費	¥5,880
生徒会費	¥5,040
環境衛生費	¥1,200
合 計	¥62,000

※1 高等学校就学支援金の受給資格の認定を受けた方は、支援金と授業料が相殺されることから、**授業料を納付する必要はありません。**

※2 給食については、希望者のみの提供としており、毎月指定された日にお支払いいただきます。
年間約200食×250円（1食当たりの費用）として算出しています。

教科書代の補助

高等学校では教科書代は自己負担です。しかし、定時制高校においては、働きながら学び**所定の条件を満たすことで、全額補助**の対象となります。

奨 学 金

北海道教育委員会では、公立高等学校に学ぶ生徒の父母等の経済的な負担を軽減するため、次のような制度を設けておりますので積極的に活用してください。詳しくは、北海道教育委員会ホームページを御覧ください。

- ・北海道公立高校生等奨学給付金
- ・公立高等学校等生徒奨学金
- ・公立高等学校定時制課程及び通信制課程生徒学資金



苫小牧工業高校の進路指導

キャリア教育

本校では、それぞれの学年に合わせてカリキュラムを組み、就職希望や進学希望など多様な進路選択に応じたきめ細かい進路指導の実践に取り組んでいます。将来を見据えたキャリア教育は、入学直後からスタートします。

内 容	対象学年
進 路 希 望 調 査	全 学 年
職 業 適 性 検 査 (レディネステスト)	2 学 年
就 職 ガ イ ダ ン ス	3 学 年
進 路 マ ナ ー 講 座	
進 路 講 話	
進 路 個 人 面 談	4 学 年
進 学 希 望 者 集 会	
進 路 集 会	
企 業 説 明 会	
相 談 員 による 模 擬 面 接	
就 職 促 進 会	



アルバイト

「昼間働き、夜学ぶ」が定時制のモットーです。本校のほとんどの生徒がアルバイトも含め何らかの仕事に就いています。働くことで得られるものは賃金だけではありません。コミュニケーション能力や継続力、主体性や対応力など多くの力が身に付きます。

進路指導の一環として、働きながら学ぶ本校定時制生徒の良さを多くの企業の皆様に伝えてきました。そして、多くの企業の皆様にご理解をいただいています。

主な就職先

トヨタ自動車北海道(株)、ホクト(株)、(株)ザ ニドム
(有)宇野タイヤ商工日軽松尾(株)、(株)イワクラ
(株)ウエル介護付有料老人ホーム海の丘、
(株)ヤマダデンキ、(株)ダイナックス、(株)三協電設
(有)玉成電設興業、北旺運輸(株)、社会福祉法人ふれんど
国策機構(株)、北札幌電設(株)、(有)シノムラ内装店
北日本石油(株)苫小牧販売支店、(株)マテック苫小牧支店
(令和元年度～令和3年度卒業生実績)

主な進学先

北海道情報専門学校
大原簿記情報専門学校
北海道職業能力開発大学校
北海道科学大学
北海道立苫小牧高等技術専門学院
札幌マンガ・アニメ＆声優専門学校
(令和元年度～令和3年度卒業生実績)

北海道苫小牧工業高等学校（定時制課程）

〒053-0035

苫小牧市字高丘6番地22

TEL：(0144) 36-3162

FAX：(0144) 36-3166

<http://www.tomakou.hokkaido-c.ed.jp/teiji/>